

平成22年度

瀬田工業高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・わかる授業の工夫や改善と学習内容の点検・整備に努める。
- ・各種資格の取得にむけ、生徒への啓発と学習指導を充実する。
- ・本校に愛着をもって生活できる生徒を育成するため、生徒指導、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実する。
- ・保護者や地域社会への不断の情報発信を行い、学校に対する理解と協力を得られるように努める。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	工業教育の理想を追求し、新しい時代に即応した人材の育成を図っている。	A	A	A
	施設・設備の更新、維持管理、点検整備を図り、学習環境の充実に努めている。	B	B	B
2 学習指導	基礎・基本を重視した教科指導にあたっている。	B	B	B
	各種の資格が取得できるように指導を行っている。	A	A	A
3 生徒指導	ル・ルやマナ - の指導が充実しており、問題行動の発生を未然に防止している。	B	A	A
	生徒会行事は充実している。	B	B	B
4 進路指導	進学や就職に関する情報提供を十分に行っている。	A	A	A
	進学や就職に関する指導を適切に行っている。	B	A	A
5 特別活動等	部活動に積極的に参加し、充実した活動を行っている。	B	A	A
	校外学習や修学旅行等は、生徒にとって意義ある内容としている。	B	A	A
6 学校図書館	委員会活動や広報誌発行等を通じて図書館の利用を促進するように努めている。	A	B	B
	生徒・職員のニーズに応えられる図書の実装を目指している。	A	A	A
7 保健・安全指導	病気、けが、事故等への対応を適切に行っている。	A	A	A
	充実した教育相談を行っている。	A	B	B
8 人権教育	LHR等を利用し人権意識を高める指導を十分に行っている。	A	A	A
9 環境教育	省エネルギーへの取組みとして節電等の指導を行っている。	B	B	B
	ゴミの分別について啓発し、実践している。	B	B	B
10 事務・管理	施設・設備を充実し、整備している。	C	C	C
	来訪者や電話に対して適切に対応している。	A	A	A
11 その他 学校の取組み	地域の企業や高等教育機関等と連携して、工業高校としての知識・技術の教育を進めている。	B	B	B

(注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表  
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。  
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。  
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。  
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.setatech-h.shiga-ec.ed.jp/>